

市立ひばりが丘中学校 新校舎へ移転 ～2学期から新校舎での学校生活が始まります～

1 事業の概要

本市では、教育環境の向上を図るとともに、中学校の近接化や通学区域などの課題解消を図るため、老朽化の進んだひばりが丘中学校の建て替えを行う「新ひばりが丘中学校整備事業」を進めてまいりました。

夏休み期間を利用して移転作業を行い、本年8月末の2学期開始時から新校舎での学校生活が始まります。

2 これまでの経緯

新校舎は平成30年12月に工事が完了しましたが、平成31年1月から約2年間、中原小学校建替工事の際の小学校仮校舎として使用していました。

令和3年度に中学校仕様への転用改修工事を行い、2学期からの開校に向けて準備を進めてまいりました。

なお、ひばりが丘中学校の旧校舎での学校生活が最後となる1学期の最終日には、生徒会の企画で、多くの卒業生たちを見送った“校舎”への感謝の気持ちを込めて、全クラスで黒板アートを制作しました。

本年、創立60周年を迎えるひばりが丘中学校は、新たな教育環境の中で生徒たちを育ててまいります。



新校舎外観①



新校舎外観②



旧校舎最終日に実施した黒板アート



黒板アートを制作する生徒たち

資料のポイント

新校舎は、保護者、地域住民等で構成された西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会からの提言を踏まえ、子どもたちの生活と学びの場として、安心とぬくもりを感じられるよう、校舎の壁や天井などに一部木材を使用しています。

新校舎の小学校仮校舎として利用について

- 中原小学校建て替え期間中も児童が工事の影響を受けずに、従来通りの環境で学習を続けられた。
- 通常必要となる建て替えの際の仮設校舎建設が不要となり、工期の短縮とともに建設費用の軽減が図れた。
- 本年5月から7月まで、新型コロナワクチンの集団接種会場として、体育館を活用できた。

新ひばりが丘中学校新校舎建設について

- 田無第二中学校とひばりが丘中学校の近接化や通学区域などの課題解消を図った。
- 市内市立中学校として、初めて自校式給食を採用した。
- 令和4年4月から、新たに「特別支援学級」を開設する。